

平成30年度看護職員の認知症対応力向上研修会開催要項

1 目的

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等への入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。

2 実施機関

岩手県委託事業として、公益社団法人岩手県看護協会が実施する

3 開催地及び日時・会場

日 時：平成31年 1月23日（水） 10：00～17：00
 平成31年 1月24日（木） 9：30～16：30
 平成31年 1月25日（金） 9：30～16：30（連続3日間）
 会 場：岩手教育会館 カンファレンスルーム201・202

4 対象及び人数

岩手県内の医療機関で勤務する指導的役割の看護職員（看護師長職以上）で、連続3日間受講できるもの約100名 ※医療機関とは一般病院をさし、小児、精神科病床は除く。

5 受講料 無料

6 研修内容

時間	講義	研修内容	講師・助言講師
1/23 (水)	ねらい	認知症患者の入院から退院までのプロセスに沿って、基本的な知識を習得する。	講師 岩手県立大学看護学部 准教授 千田 睦美
	到達目標	病院勤務の医療従事者向けに認知症に関する知識を普及することができる。	
I 基本知識 講義 (180分)	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 急性期病院での認知症の現状、認知症の病態、症状 せん妄の基本的な知識、予防、発見、対応 認知機能障害に配慮した身体管理 認知機能障害に配慮したコミュニケーションの基本 情報共有、退院調整、身体拘束、治療同意についての基本的な知識 管理者による取組の重要性 認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 	講師 医療法人 館 この脳神経内科・脳神経外科クリニック 理事長 紺野 敏昭
1/24 (木)	ねらい	個々の認知症の特徴・症状に対するより実践的な対応力（アセスメント、看護方法、技術、院内外連携手法）を習得する。	講師 岩手県立南光病院 認知症看護認定看護師 渡 邊 加奈子
	到達目標	1 入院及び退院時支援に必要となるアセスメントを実施し、適切に院内外に連携することができる。 2 せん妄について、認知症との違いを理解し、特有の対応を適切に行うことができる。	
II 対応力向上 講義 (330分) 演習 (150分)	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症患者の身体管理 一般病院に求められる役割 認知症患者の世界観の理解、中核症状の理解、基本的な評価方法（アセスメント） 認知症の疾病経過の理解と疾病段階を踏まえた看護・支援の在り方 認知症を疑った場合の初期対応として実践すべき看護、初期集中支援 チームや病棟内での情報共有、部門間での情報共有 行動・心理症状（BPSD）の予防と病棟での環境整備 行動・心理症状（BPSD）の理解とアセスメント、看護方法 せん妄の病態、診断・同定、認知症との鑑別 	講師 岩手県立中部病院 認知症看護認定看護師 小 原 久美子

		<ul style="list-style-type: none"> ・せん妄の対策（予防及び早期発見・早期対応） ・退院調整での課題（特に再入院や緊急入院を防ぐためのコーディネート） ・地域連携（在宅医療、地域包括ケアの知識、退院時の情報提供、介護施設との連携） <ul style="list-style-type: none"> ・（演習）看護計画立案を通じた事例検討 	講師 盛岡赤十字病院 看護師長 小田切 宏 恵 助言講師 盛岡赤十字病院 看護師長 小田切 宏 恵 助言講師 岩手県立南光病院 認知症看護認定看護師 渡 邊 加奈子 助言講師 岩手医科大学附属病院 認知症看護認定看護師 金 子 由香利 助言講師 岩手県立中部病院 認知症看護認定看護師 小 原 久美子
1 / 2 5 (金)	ねらい	マネジメント（人員、環境、情報管理）の実践的な対応方法及び教育技能を習得する	講師・助言講師 盛岡赤十字病院 看護師長 小田切 宏 恵
	到達目標	1 各施設の実情に応じた認知症への対応方法を検討し、適切なマネジメント体制を構築することができる。 2 自施設における看護職員への研修（本研修 I 基本知識編相当）を実施することができる。	助言講師 岩手医科大学附属病院 認知症看護認定看護師 金 子 由香利
	Ⅲ マネジメント 講義 (180分) 演習 (240分)	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する事例を収集、見返し、フィードバックをする体制 ・病棟内、部門間での情報共有、人員の配置 ・コンサルテーション体制（院内・地域内での専門家へのアクセスの確保） ・標準的な対応手順・マニュアルの検討整備（認知症の療養・退院支援、行動・心理症状、せん妄） ・施設内での目標設定・研修計画の立案、教育技法 ・自施設での研修を実施する上でのポイント、教育の要点の伝達 ・（演習）自施設の現状の検討、振り返り ・（演習）自施設内でのマネジメント体制の検討、研修計画立案

7 申 込 別添え所定の用紙に記入の上、下記宛てに郵送でお申し込みください。
〒020-0117 盛岡市緑が丘二丁目 4 番 55 号
(公社) 岩手県看護協会 教育部あて
封書表に「研修会申込書在中」と表記してください。

8 申込期間 平成30年11月1日（木）～11月7日（水）

9 その他

- 1) 研修内容を全て受講した方に、岩手県知事から修了証書を書面で交付します。
- 2) 本研修は、診療報酬改定に伴う「認知症加算ケア2」の算定要件の研修です。

平成30年度 看護職員の認知症対応力向上 研修会受講申込書（看護管理者対象）

1. 開催日時及び会場

日時：平成31年1月23日（水）10：00～17：00 1月24・25日 9：30～16：30 会場：岩手教育会館 カンファレンスルーム201・202

2. 所属施設〔電話番号〕

施設名 _____〔Tel. _____〕

3. 氏名 _____

4. 岩手県看護協会会員番号（会員の方） _____

5. 職種 保 助 看

6. 役職 _____

7. 生年月日（修了証発行の必要事項ですので、必ず記載してください。）

西暦 19 _____ 年 _____ 月 _____ 日

8. 申込期日 平成30年11月1日（木）～7日（水）必着（郵送）

※個人情報の取り扱いについて・・・申込書は、研修会に伴う書類作成等、使用範囲を限定し、厳重な管理のもと適切に取り扱います。